

公益財団法人応用科学研究所 令和7年度定時評議員会議事録

- 開催日時 令和7年6月16日（月）14:00～15:00
- 開催場所 公益財団法人応用科学研究所森記念研究棟 2F 会議室
京都市左京区田中大堰町49番地
- 評議員現在数及び定足数
現在数10名、議案の定足数 6名（通常議題）
- 出席評議員数 7名
(評議員出席) 鴻野 雄一郎、仲田 摩智、仁田 且三、浜田 誠一郎、三阪 佳孝、
森 雅彦、吉田 英生

(監事出席) 西 亨、村上 博保
(理事陪席) 大野 正夫、大原 久典、北野 正雄、久保 愛三、成宮 明、野村 俊雄、
松岡 裕明、山路 伊和夫
(議案説明及び報告) 久保理事、野村理事、成宮理事
- 議題 第1号議案『令和6年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書
並びに財産目録の承認』を求める件
第2号議案『理事の選任』に関する件
第3号議案『監事の選任』に関する件
第4号議案『評議員の補欠選任』に関する件

報告事項 1. 理事会報告
2. 中信ビジネスフェア出展報告
- 開会・議長選出並びに議事録署名人選出
定刻14:00に出席予定者全員が出席。久保理事長の挨拶の後、事務局から本日の出席者について、評議員7名の出席と監事2名の出席、及び理事8名の陪席で、会議は成立していることが報告された。続いて、定款第25条の規定に基づき出席評議員の互選により、鴻野評議員が議長に選出された。
評議員会議長が開会を宣し、まず定款第30条に、議事録には議長と、出席した評議員のうちから選出された2名が記名押印することとなっている旨の説明があった。議長から吉田評議員、並びに仲田評議員が指名され、両人もそれを承諾し、議長及びこの両評議員が議事録署名人となった。引き続き議案の審議に入った。
- 議事の経過の概要及びその結果

第1号議案 『令和6年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録の承認』を求める件

議長の求めにより、まず事務局から詳細の説明が行われた。引き続き、議長から、去る5月15日に公益財団法人応用科学研究所応接室において行われた監事監査の結果について、監事の報告が求められ、西監事から業務監査の結果について、監事監査規程に基づき、事業報告書及び理事の職務の執行について問題がなかったことが報告された。また村上監事からは、監事監査規程に基づき、会計帳簿並びに関係書類の閲覧を行い、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨、報告された。

これらの報告に基づき、第1号議案について議長から各評議員の意見が徴された後、全員異議なく、本件は可決承認された。

第2号議案 『理事の選任』に関する件

議長の求めに応じて事務局から下記の説明があった。

公益財団法人に移行して以来14年が経過し、11年前に新しく立ち上げた機械基盤研究事業もコア事業として確り根付いてきているが、この間の経営環境の変化により、経営上の課題も多く抱えていること。このような状況の中で本法人の更なる発展を図るためには、従来を経緯を踏まえた上での運営と改革に加え、新たな発想も必要であり、今回は8名の再任理事の他に新たに2名の新理事を迎えることが適切と思われること。

議長は、以上の理事長提案内容について評議員会に諮り、その案を本日の評議員会で正式に取り上げることとし、審議を行った。理事の選任の方法については各候補者毎に適否の採決を行い、その結果、理事長提案の10名全員について、それぞれ出席評議員全員一致で次期理事に選任することを決した。

選任結果をまとめると、次のとおりである。

(再任)

久保愛三、北野正雄、成宮明、松岡裕明、大原久典、大野正夫、中務陽介、山路伊和夫

(新任)

三阪佳孝(高周波熱錬(株)顧問)、引原隆士(京都大学理事・副学長)

任期はいずれも選任された日から令和9年定時評議員会終結の時までの2年間。

なお、退任者は次のとおり。

(任期満了)川寄一博、野村俊雄

第3号議案 『監事の選任』に関する件

議長の求めに応じて、理事長から下記の説明があった。

公益財団法人に移行して以来14年が経過し、11年前に新しく発足した機械基盤研究事業もコア事業として確り根付いてきているが、法人を取り巻く景況等は依然として不透明であり、経営上の課題も多く抱えている。

このような状況の中で本法人は、更なる発展をもとめ、従来を経緯を踏まえつつ変化に対応するための改革を進めて行く必要がある、その観点からは現監事全員の再任が適切と思われること。

議長は、以上の理事長提案内容について評議員会に諮り、その案を本日の評議員会で正式に取り

